



Japan Foundation for
Regional Art-Activities

地域創造レター

12月号—No.355

2024.11.25

(毎月1回25日発行)

News Letter to Arts Crew



京都府立府民ホール アルティ「アルティ クリスマスコンサート」(ロビーイベントの様子)

●目次 / contents

クリスマス&年越し・新春企画特集

公演カレンダー.....2

今月の情報.....6

地域通信

財団からのお知らせ.....9

令和7年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」[公共ホール邦楽活性化事業]スタッフ募集/令和7年度ステージラボ開催地のお知らせ/
「特別寄稿 ビューポイント view point」No.17掲載について/WEBでの
情報発信のお知らせ/令和6・7年度「公共ホール創造ネットワークモデル事業」アウトリーチ開催/令和6年度「公共ホール邦楽活性化事業」スタート/令和6年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

今月のレポート.....12

和歌山県和歌山市 和歌山県民文化会館

「音楽とダンスが会える夢の旅～響きの先のあしたへ～」



クリスマス&年越し・新春企画特集

恒例の「クリスマス&年越し・新春企画特集」の季節となりました。定番のプログラムからユニークな企画まで、各地の取り組みを一挙にご紹介します。

☉は会場、🗺は問い合わせ先です(🗺は地域創造助成事業)。

クリスマス企画

●札幌市 12月21日

Kitaraのクリスマス

札幌出身の指揮者・横山奏と国内外で活躍するヴァイオリニストの荒井里桜、地域に親しまれるプロオーケストラ札幌交響楽団によるクリスマスコンサート。演目はチャイコフスキー組曲『くるみ割り人形』やアンダーソン『クリスマス・フェスティバル』などクリスマス気分を感じられる曲が盛り沢山。

☉札幌コンサートホールKitara
🗺札幌市芸術文化財団
Tel. 011-520-2000

●仙台市 12月22日

クリスマスコンサート音楽と朗読でおくる「くるみ割り人形」

未就学児も入場できる親子で楽しめるクリスマスコンサート。日立システムズホール仙台では今回が初開催となる。チャイコフスキーの『くるみ割り人形』を、朗読とM & Fontaカルテットによる演奏で楽しむことができるほか、弦楽四重奏によるジブリやディズニー音楽、クリスマスメドレーなどで、クリスマスならではの雰囲気を楽しむことができる。

☉日立システムズホール仙台
🗺仙台市市民文化事業団

Tel. 022-301-7405

●福島県白河市 12月22日

Christmas Heartfelt Concert ~Heartfelt Special Ensemble & クリス・ハートとともに~

作曲家でピアニストの谷真人が率いるHeartfelt Special Ensembleによるクリスマスコンサート。ポピュラーコンサートなどでも活躍するアーティストのクリス・ハートをゲストに迎え、クラシックやジャズ、ポップスなど、ジャンルを問わない名曲の数々をさまざまな編成でお届けする。

☉🗺白河文化交流館 コミネス
Tel. 0248-23-5300

●茨城県水戸市 12月21日

クリスマス・プレゼント・コンサート2024

水戸芸術館で毎年恒例の池辺晋一郎の企画・おはなしでお贈りしているクリスマスコンサート。地元高校生のコーラス部からプロの演奏家たちまでが一堂に会する。また、水戸芸術館では初めての公演となる福間洸太郎のピアノや、一般のクラシックとは一味違った演奏を楽しめる和谷泰扶のクロマティック・ハーモニカなど、多彩なプログラムを楽しめる。講演後に実施されるエントランスホールでのパ

イプオルガン演奏にも注目。

☉水戸芸術館
🗺水戸市芸術振興財団
Tel. 029-227-8111

●さいたま市 12月15日

プラザノース de クリスマス

0歳児から参加できるキッズコンサートと3歳児から参加できるファミリーコンサートの2部構成で上演。『ジングルベル』や『あわてんぼうのサンタクロース』などクリスマスらしいプログラムに合わせて、さまざまな楽器や歌でコンサートに参加する。子どもたちにはクリスマスプレゼントも配られる。

☉🗺さいたま市プラザノース
Tel. 048-653-9255

●千葉県東金市 12月22日

四季彩コンサート—冬— TO-BUNクリスマスコンサート

毎年恒例のコーラスによるクリスマスコンサート。幼稚園児と小学生が振付とともに合唱を披露するキッズ合唱団や1日のみの練習で参加できるワンデー合唱団など、公募で集まる合唱団はリピーターも増え、子どもから大人まで100人近い市民がプロミュージシャン(ピアノ、ストリングス、パーカッションなど)と共にステージをつくり上げる。

写真

左上: 石川県立音楽堂の輪島塗の装飾が特徴的なオルガン(石川県金沢市)

右上: 「つくばで第九」(茨城県つくば市)

左下: 石橋文化センター「ミュージアムクリスマス」(福岡県久留米市)

右下: 大和田レインボウ・プロジェクト「さくらホール ニューイヤー・ジャズ・コンサート2024」(東京都渋谷区)

☉東金文化会館
Tel. 0475-55-6216

●東京都墨田区 12月22日
パイプオルガン・クリスマス・コンサート2024

「0歳からのオルガン・コンサート」と「しっかりじっくりオルガンコンサート」の2つのコンサートを開催。演奏中の手元や足元が舞台上の大スクリーンに映し出され、日本最大級のパイプオルガン演奏の様子を楽しめる。原田真侑(オルガン)と熊田祥子(ソプラノ)により、定番曲のほか、フォーレやプーランクなどフランスの作曲家の名曲も演奏される。

☉すみだトリフォニーホール
☉墨田区文化振興財団
Tel. 03-5608-5404

●東京都調布市
12月12日～15日
親子のクリスマス・メルヘン2024『動物の謝肉祭』

独自の視点による作品の再構成と、個性的な振付で注目を浴びるスズキ拓朗が手がける音楽とダンスと演劇がごちゃまぜになった、せんがわ劇場版『動物の謝肉祭』。編曲と演奏は地元調布の桐朋学園大学生が担っている。ダンスと生演奏の組み合わせで、子どもから大人までが観て聴いて楽しめる、クリスマスのひとときをお届けする。

☉調布市せんがわ劇場
Tel. 03-3300-0611



親子のクリスマス・メルヘン2023
『オズのまほうつかい』 ©大洞博靖

●横浜市 12月8日
オルガン クリスマス コンサート
(J.S.バッハのクリスマス)

バッハ・コレギウム・ジャパン(BCJ)の創設者で、バッハ演奏の第一人者である鈴木雅明による珠玉のクリスマス名曲コンサート。共演者に豊かな歌声で観客を魅了する実力派歌手の松井亜希と加未徹、ゲストに神奈川県民ホール オルガン・アドバイザーの中田恵子を迎え、厳かなひと時を楽しめる。

☉神奈川県民ホール
Tel. 045-662-5901

●新潟市 12月20日
りゅーとびあオルガン・クリスマスコンサート2024

今年4月にりゅーとびあ専属オルガニストに就任した濱野芳純によるオルガン・クリスマスコンサート。東京交響楽団との共演を目的に結成された「にいがた東響コーラス」と碓山隆一郎の合唱指揮とともに、クリスマスの名曲をお贈りする。クリスマスに彩る荘厳なオルガンと清らかな歌声のハーモニーを楽しめる。

☉りゅーとびあ 新潟市民芸術文化会館
☉新潟市芸術文化振興財団
Tel. 025-224-5614

●石川県金沢市 12月22日
小中学生のためのコンサート
パイプオルガン スペシャルコンサート

楽器の魅力を解説とともに届ける小中学生のためのコンサートシリーズ。今年パイプオルガンをテーマに、音色にぴったりのクリスマスコンサートとして開催。北陸学院小学校ハンドベルクラブとのコラボ演奏や、今回のためにオルガン奏者の黒瀬恵が翻訳し初披露するオルガンの解説が付いた楽曲など盛り沢山のプログラム。

☉石川県立音楽堂
☉石川県音楽文化振興事業団
Tel. 076-232-3403

●静岡市 11月11日～12月25日
グランシップ冬のおくりもの2024-2025 グランシップ×静岡大学 川原崎デザイン研究室 ×岸本挽物 オリジナルクリスマスツリー

昨年より静岡大学川原崎デザイン研究室と協働し、静岡市の伝統工芸を扱ったクリスマスツリーの展示を行っている。今年は、ろくろと旋盤を用いて木材を丸く削る「挽物」をテーマに、静岡挽物の職人・岸本真紀氏と研究室生が共創してオーナメントを製作。期間中はツリーのあるロビーで生演奏のコンサートも開催される。

☉静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ
Tel. 054-289-9000



静岡挽物のクリスマスツリー

●名古屋市 12月24日、25日
愛知県芸術劇場×FM AICHI 開局55周年「クリスマスはオルガンだ! 2024 ～フルート、そのあでやかな音色にのせて～」

クリスマス恒例のパイプオルガンコンサート。愛知県芸術劇場オルガニストの都築由理江と名古屋フィルハーモニー交響楽団首席フルート奏者の大久保成美が共演し、季節にぴったりの曲を演奏。音楽と幻想的な光の演出に加え、スクリーンへのオル

ガンの手元・足元の投影も見どころとなっている。

☉愛知県芸術劇場
☉愛知県文化振興事業団
Tel. 052-211-7552

●愛知県豊田市 12月15日
コンサートホールクリスマスフェスティバル「みんなで踊ろう! ポルカ・ワルツ・タンゴ」

コンサートやダンス、体験コーナーなど、さまざまなプログラムを楽しめるクリスマスフェスティバル。出口大地を指揮に迎えた愛知室内オーケストラによるコンサートをはじめ、指揮者や楽器、グラスハープの体験コーナーや、工作コーナーでつくった楽器を実際に使ってオーケストラの演奏に合わせて踊る企画など、大人から子どもまで楽しめる多彩なプログラムが用意されている。

☉豊田市コンサートホール
Tel. 0565-35-8200

●京都市 12月21日
アルティ クリスマスコンサート

午前の回では赤ちゃんから楽しめるおもちゃ箱のように楽しいコンサート、午後の回では打楽器の豊かな音楽世界を堪能できるコンサートを開催。どちらもクリスマスにぴったりのプログラムが用意されているほか、ロビーではクリスマスマーケットが開催され、お菓子などの販売やワークショップ、バザーも予定されている。

☉京都府立府民ホール アルティ Tel. 075-441-1414

●広島県福山市 12月8日
クリスマス・ガラ・コンサート

県内を中心に活躍するふくやま芸術文化ホール リーデンローズの登録アーティスト9組13名が集結するクリスマスガラコンサート。ピアノやソプラノ、サク

ソフォン、フルート、オーボエ、コントラバスなどさまざまな音色でクリスマスを彩る。曲目は『くみ割り人形』などを予定。

☎️福山市沼隈サンバル
Tel. 084-987-1866

●香川県多度津町 12月22日
サクラートたどつXmas concert
～第4回プロムジカアンサンブル
室内楽とオーケストラの調べ～

サクラートたどつが地域のアーティストたちとつくり上げるクリスマスコンサート。第1部では、この日のためだけに県内の学生を中心に結成されたジュニアオーケストラ、第2部では多度津町出身者を含め地域にゆかりのアーティストを中心としたプロムジカアンサンブルのコンサートを開催。

☎️サクラートたどつ(多度津町民会館) Tel. 0877-33-3330

●福岡県久留米市
12月14日～25日
ミュージアムクリスマス2024

広大な庭園や美術館、音楽ホール、図書館から成る石橋文化センターでは、毎年、クリスマス限定イルミネーションやナイトコンサートなどのイベントを開催している。今年は、食事とともに気軽に本格的な音楽が楽しめるファミリー向けコンサートやマルシェなどの新企画も加わり、クリスマスまでの2週間さまざまなイベントが楽しめる。

☎️石橋文化センター
☎️(公財)久留米文化振興会
Tel. 0942-33-2271

●佐賀県有田町
12月14日、15日、21日、22日
アリタセラ・マシュマロ・クリスマス
2024

有田焼専門店が軒を連ねるアリタセラ(旧有田陶磁の里プラザ)で行われる、有田焼とマシュ

マロをテーマにした新しいクリスマスイベント。有田焼からマシュマロが溢れ出たような巨大「マシュマロツリー」や有田焼を使用したミニマシュマロツリーづくり、絵付け体験などのワークショップや地元の高校吹奏楽部による碗琴演奏など、有田焼にちなんだここにしかない企画が盛り沢山。

☎️アリタセラ
☎️アリタセラクリスマスイベント
実行委員会事務局(佐賀県文化課内) Tel. 0952-25-7236

年越し・新春企画

●北海道岩見沢市 12月22日
札幌交響楽団演奏会
まなみーるDEクラシック2024

合唱団や社会人コーラスなど、音楽が盛んなまち・岩見沢の市民に本格的なクラシックコンサートを届けるため、2001年から開催している恒例の札幌交響楽団の演奏会。今年は指揮に横山奏を迎え、第1部ではアンダーソンの『そりすべり』などクリスマスにちなんだ名曲を、第2部は『威風堂々』など王道のクラシックの名曲をプログラム。

☎️まなみーる岩見沢市民会館
Tel. 0126-22-4233

●宮城県加美町 1月19日
バツハホール管弦楽団ニューイ
ヤーコンサート2025

2014年に設立された町民オーケストラ・バツハホール管弦楽団。地元大崎市出身のトロンボーン奏者・金澤茂が音楽監督を務め、小学生から70歳代まで幅広い年代のメンバーが練習に励み、地域に密着した活動を繰り広げている。定期演奏会とともにニューイヤーコンサートも恒例のプログラムで、今年はワグナーやプッチーニ、ジブリ音楽などバラエティに富んだ名曲

を披露する。
☎️中野バツハホール
Tel. 0229-63-7367

●茨城県つくば市 12月29日
第17回つくばで第九

市民合唱団による恒例の第九公演。合唱の指導者や舞台スタッフ、在京のオーケストラ団員を中心とした特別編成の「つくばで第九オーケストラ」など、毎年さまざまな立場の人たちが結束して実施されている。今年度も昨年に引き続き、指揮に三河正典、合唱指揮に富澤裕を迎え、公募による約120人の市民合唱団が、約5カ月間練習を重ねて舞台に立つ。

☎️ノバホール
☎️つくば文化振興財団
Tel. 029-856-7007

●群馬県高崎市 1月1日
第35回高崎元旦コンサート

高崎芸術劇場を拠点とする群馬交響楽団と劇場芸術監督・大友直人の指揮による元旦恒例のコンサート。近年は進境著しい若手演奏家をゲストに迎え、バラエティに富んだプログラムで好評を得ている。今回は南紫音(ヴァイオリン)、工藤和真(テノール)、児玉隼人(トランペット)が出演。シュトラウスやビゼー、モリコーネの名曲を披露する。

☎️高崎芸術劇場
Tel. 027-321-7302

●埼玉県富士見市 1月19日
キラリふじみニューイヤーコン
サート2025

主催事業としては年に一度、トッパンホールのプログラミング・ディレクター西巻正史氏のプログラムにより開催している恒例のクラシックコンサート。例年、若手実力派による四重奏や五重奏をメインにしてきたが、今回は趣向を変え、出演者を最小

限に絞り、室内楽の奥深さと華やかさを併せ持つと言われるピアノ・トリオ(ヴァイオリン: 周防亮介、チェロ: 笹沼樹、ピアノ: 五十嵐薫子)によるプログラム。プロコフィエフやラフマニノフ、チャイコフスキーの名曲を奏でる。

☎️富士見市民文化会館キラリ☆ふじみ ☎️キラリ財団
Tel. 049-268-7788

●東京都渋谷区 1月3日
大和田レインボウ・プロジェクト
「さくらホール ニューイヤー・
ジャズ・コンサート2025」

子どもたちに音楽体験と発表の場を提供することを目的に、ジャズピアニストの山中千尋をプロジェクト・リーダーに迎え、2014年にスタートしたのが「大和田レインボウ・プロジェクト」。毎年公募により小学生から大学生までのメンバーによるビッグバンドを結成し、プロの講師との3カ月間にわたるレッスンを経て、山中千尋トリオとの共演を果たす。11回目を迎える今回は、2023年に旅立った坂本龍一の作品をテーマにジャズに挑戦する。

☎️渋谷区文化総合センター大和田 Tel. 03-3464-3252

●東京都板橋区 12月14日
フレッシュ名曲コンサート
「第40回板橋第九演奏会」

1982年にスタートし、今回で40回目を迎える伝統の第九演奏会。年代もバックグラウンドもさまざまな約160人の公募合唱団が9月から練習を重ね、海老原光指揮の下、東京フィルハーモニー交響楽団や、新進気鋭のソリストたちと共演する。今年は「よるこびシェアリング #板橋第九」と題して、合唱団員をはじめとした関係者がSNSなどでそれぞれの思いを発信し、40回記念

の気運を高めている。

☒板橋区立文化会館
☒板橋区文化・国際交流財団
Tel. 03-3579-3130



昨年の第九演奏会

●富山県射水市 1月12日
ラポールニューイヤーコンサート2025

毎年恒例のオーケストラ・アンサンブル金沢(OEK)の新春コンサート。今回は指揮に松井慶太(OEKコンダクター)、独唱に鈴木玲奈(ソプラノ)を迎え、サティ(没後100年)、ショスタコーヴィチ(没後50年)、ビゼー(没後150年)、シュトラウス(生誕200年)といった周年記念の作曲家を特集。各作曲家の珠玉の名曲を奏でる。

☒アイザック小杉文化ホール
ラポール Tel. 0766-56-1515

●長野県松本市 1月13日
松本交響楽団 2025 ニューイヤーコンサート

2025年で創設75周年を迎える市民オーケストラ・松本交響楽団。年1回の定期演奏会をはじめ、室内楽によるアンサンブルコンサートなど、地域に根差した活動を繰り広げている。今年で44回目を数える恒例のニューイヤーコンサートは、松本市音楽文化ホール開館40周年のオープニングコンサートとして、シュトラウスのポルカやワルツなど、新春にふさわしい名曲を奏でる。

☒松本市音楽文化ホール
(ザ・ハーモニーホール)
Tel. 0263-47-2004

●三重県津市 1月5日
三重のこどもニューイヤーコンサート2025

県内のジュニア楽団が競演する新春コンサート。令和6年度に3つの県立文化施設(三重県総合博物館、三重県総合文化センター、斎宮歴史博物館)がそれぞれ開館周年を迎えることを契機として立ち上がった企画「県立文化施設アニバーサリー連携事業」の一環として開催。出演はジュニア和楽器楽団「あまね」、三重ジュニア管弦楽団、三重県少年少女合唱連盟、三重県立白子高等学校普通科文化教養(吹奏楽)コースの4グループ。会館と関西拠点契約を締結している新日本フィルハーモニー交響楽団のサポートの下、音楽のジャンルを越えてコラボレーションする。
☒三重県総合文化センター
三重県文化会館
Tel. 059-233-1112

●滋賀県大津市 12月31日
びわ湖ホールジルヴェスター・コンサート2024

開館以来続く恒例のカウントダウンコンサート。指揮は沼尻竜典の後を受けて第3代びわ湖ホール芸術監督に就任した阪哲朗。司会にクラシック音楽愛好家として知られる桂米團治を迎え、大阪交響楽団の演奏、ゲストの中川優芽花(ピアノ)、一般公募によるジルヴェスター合唱団&ファンファーレ隊が華やかにステージを彩る。
☒滋賀県立芸術劇場びわ湖ホール Tel. 077-523-7133

●堺市 1月5日
Teatro Trinitario 2025
新春を寿ぐ“メリー・ウィドウの世界で巻き起こるオペラ・ガラコンサート”

フェニーチェ堺のオープン以来、40年以上の歴史ある市民オペ

ラ団体・堺シティオペラと堺に拠点を置く大阪交響楽団の三者が一丸となって舞台をつくり上げることを目指してスタートした企画「Teatro Trinitario (テアトロ・トリニタリオ)」(トリニタリオは“三位一体”の意)。今回は、山下一史の指揮で、『メリー・ウィドウ』の名曲などを、プロのソリストや大阪響コーラス・堺シティオペラ記念合唱団と奏でる。

☒フェニーチェ堺
(堺市民芸術文化ホール)
Tel. 072-223-1000

●兵庫県西宮市
12月29日~31日
佐渡裕芸術監督プロデュース
開館20周年記念
ジルヴェスター・スペシャル・
コンサート2024

兵庫県立芸術文化センターの開設以来、毎年開催している恒例の年末コンサート。2025年の開館20周年へのキックオフ事業でもある今年は3日間の特別開催。佐渡裕芸術監督プロデュースオペラ2025の上演作『さまよえるオランダ人』の序曲などワーグナーの傑作を中心にプログラム。またゲストに“かていん”ことピアニストの角野準斗を迎え、バレエダンサーの中村祥子やスーパーキッズ・オーケストラと共演する。

☒兵庫県立芸術文化センター
Tel. 0798-68-0223

●岡山市 12月8日
“第九”ウィーン初演から200年
ベートーヴェン“第九”演奏会
2024

「岡山“第九”を歌う市民の会」による恒例の第九コンサート。今年も公募・オーディションにより結成された約120人の市民合唱団が岡山フィルハーモニック管弦楽団、プロのソリストと共演。指揮は岡フィルのミュージック

アドバイザーで今年指揮者生活60年を迎えるマエストロ・秋山和慶が務める。

☒岡山シンフォニーホール
Tel. 086-224-1950

●広島県廿日市市 1月11日
はつかいちニューイヤー2025
ピアノ・ガラ・コンサート「4台の
ピアノ・ピアノ・ピアノ・ピアノ」

さくらびあにゆかりのある25人のピアニストが集結した新春コンサート。ゲストにピアニストの青柳晋を迎え、ショパンやピアソラ、ベネットなどの名曲を奏でるほか、廿日市出身で名だたるカンパニーで経験を積んだコンテンポラリーダンサー・堀田千晶が4台のピアノと壮麗な『ボレロ』で共演する。

☒はつかいち文化ホールウッド
ワンさくらびあ
☒廿日市市芸術文化振興事業団
Tel. 0829-20-0111

●山口県防府市
1月10日~13日
第24回防府音楽祭
〈ほうふニューイヤーコンサート
2025〉

防府市出身で現在は市の音楽のまち創造プロデューサーを務めるチェリスト・田中雅弘を中心に2002年に誕生した新春恒例の音楽祭。毎年田中の呼びかけに応じて国内外で活躍中のアーティストが集結した特別オーケストラ・防府音楽祭管弦楽団によるファイナルコンサートをはじめ、市会議議場や教会などで行われる街角コンサート、参加アーティストらによる管打楽器クリニックなど、市内各所でさまざまなプログラムが展開される。
☒防府市地域交流センター(アスピラート)ほか市内各所
☒防府市文化振興財団
Tel. 0835-26-5151

地域通信

●データの見方

情報は地域ブロック別に、開催地の北から順に掲載してあります。●で表示してあるのは開催地です。📍マークが付いている事業は地域創造の助成事業です。ラインの下は、事業運営主体、住所、電話番号、担当者名の順に記載してあります。色帯部分が事業名で、以下、内容を紹介しています。

●地域ブロック

[北海道・東北] 北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島

[関東] 茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川

[北陸・中部] 新潟、富山、石川、福井、山梨、長野、岐阜、静岡、愛知

[近畿] 三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山

[中国・四国] 鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知

[九州・沖縄] 福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

●情報提供先

ファックス、電話、e-mailでお願いします。
Fax. 03-5573-4060 Tel. 03-5573-4093
letter@jafra.or.jp
地域創造情報担当 和田・今野

●2025年2月号情報締切

2024年12月18日(水)

●2025年2月号掲載対象情報

2025年2月～4月に開催もしくは募集されるもの

北海道・東北

●青森県青森市

青森公立大学 国際芸術センター
青森 [ACAC]

〒030-0134 青森市大字合子
沢字山崎152-6

Tel. 017-764-5200 原田

<https://acac-aomori.jp/>

アーティスト・イン・レジデンス プログラム2024

[SPINNING SCAPES]

幅広い表現者を対象としたAIRプログラム。国際芸術センター青森 [ACAC] が展覧会やワークショップ等の活動を企画段階から全面的に協働するもので、目的と計画を重視した選考により選ばれた4名のアーティストが滞在制作するほか、トークショーやワークショップなどの交流プログラムを実施する。

[日程] 11月30日～12月22日

[会場] 国際芸術センター青森

●山形県庄内町

庄内町文化創造館 響ホール

〒999-7781 庄内町余目字仲谷地280

Tel. 0234-45-1433 難波

<https://www.hibikihall.jp/>

HIBIKIギター三昧の日2days

開館25周年を記念し、庄内町在住のギタリスト・福田進一と共に展開しているコンサートシリーズの特別企画。1日目は福田が音楽監修を務めた映画の上映やサウンドトラックコンサートなど、2日目はクラシックやフラメンコ、アコースティックの各ジャンルで活躍するギタリストが、ソロに加えてジャンルを超えたアンサンブルで楽曲を披露する。

[日程] 11月30日、12月1日

[会場] 庄内町文化創造館 響ホール

関東

●茨城県水戸市

茨城県近代美術館

〒310-0851 水戸市千波町東

久保666-1

Tel. 029-243-5111 鈴木智子

<https://www.modernart.museum.ibk.ed.jp/>

没後100年 中村彝展

—アトリエから世界へ—

水戸市出身の洋画家・中村彝(1887～1924)。37歳で夭逝した中村の没後100年を記念し、代表作をほぼ網羅した大規模な個展を開催する。重要文化財《エロシェンコ氏の像》(東京国立近代美術館蔵/期間限定展示)など、約120点の貴重な作品に加え、彝が実際目にし、多大な影響を受けたオーギュスト・ルノワールの《泉による女》(大原美術館蔵)も同時に展示する。

[日程] 11月10日～2025年1月13日

[会場] 茨城県近代美術館

●東京都板橋区

板橋区立美術館

〒175-0092 板橋区赤塚5-34-27

Tel. 03-3979-3251 松岡・高木

<https://www.city.itabashi.tokyo.jp/artmuseum/>

レオ・レオーニと仲間たち

絵画やデザイン、絵本など多彩な分野で活躍し、絵本『スイミー』などの作者としても有名なレオ・レオーニ(1910～99)の制作活動と、影響を与え合ったアーティストを併せて紹介する。レオーニと生前から交流のあった当館では3度目の展覧会で、長年の調査研究などを通して明らかになった活動の全貌を全5章にまとめ、20世紀の文化史の大きな流れの中から検証する。

[日程] 11月9日～2025年1月13日

[会場] 板橋区立美術館

●東京都世田谷区

せたがや文化財団

〒154-0004 世田谷区太子堂

4-1-1 キャロットタワー 5F

Tel. 03-5432-1526 清水・宮村

<https://setagaya-pt.jp/>

シアタートラム・ネクストジェネレーション vol.16—演劇— くによし組『ケレン・ヘラー』

次代を担う演劇人の発掘・育成を目的として、2008年から行っているシアタートラム・ネクストジェネレーション。今回は、演出家・劇作家である國吉咲貴が主宰する「くによし組」を選出。『ケレン・ヘラー』(2018年初演)を改訂して上演する。SNS上での表現の過激さが増していく現代社会の歪みを「異常で、日常で、シュール」に映し出す。

[日程] 12月19日～22日

[会場] シアタートラム

●川崎市

川崎市岡本太郎美術館

〒214-0032 川崎市多摩区枳形7-1-5

Tel. 044-900-9898 喜多・加藤・片岡
<https://www.taromuseum.jp/>

川崎市市制100周年・開館25周年記念「岡本太郎に挑む 浅井裕介・福田美蘭」展

浅井裕介と福田美蘭という二人の現代作家の作品を展示するとともに、彼らの視点を通して岡本太郎の表現・思想の多面性に迫る。川崎市内で採取した土を絵具として使用した浅井の巨大な新作に加え、すべて本展のために制作された福田の出品作など見どころの多い展覧会となっている。

[日程] 10月12日～2025年1月13日

[会場] 川崎市岡本太郎美術館

北陸・中部

●富山県富山市

富山県美術館

〒930-0806 富山市木場町3-20

Tel. 076-431-2711 稲塚展子

<https://tad-toyama.jp/>

第14回世界ポスタートリエンナーレトヤマ2024

今日のポスターデザインの状況と成果を紹介する日本で唯一の

▼— 今月の情報

アーツセンター、アーツクルーから寄せられた情報を毎月掲載します

国際公募展。14回目の今回は、紙媒体2部門と若手対象のデータ応募部門で、世界78国・地域からの4,557点にのぼる応募作の中から、受賞・入選のポスターをはじめとする約400点の作品を展示し、世界の最先端をゆくポスターデザインを紹介する。

[日程] 10月12日～12月15日
[会場] 富山県美術館

●富山県黒部市

黒部市美術館

〒938-0041 黒部市堀切1035

Tel. 0765-52-5011 尺戸智佳子

<https://kurobe-city-art-museum.jp/>

黒部市美術館開館30周年「サエボグ Enchanted Animals」

ラテックス製のボディーツで自身の身体を拡張させてパフォーマンスを行う、サエボグによる北陸地方で初となる展覧会。鑑賞者は動物たちの耳や尻尾などを身に付けて家畜に扮することで、会場に広がる農場世界に誘われ、いつのまにか各々がパフォーマーとなる仕掛けが作り出される。

[日程] 11月16日～2025年1月13日

[会場] 黒部市美術館

●福井県あわら市

金津創作の森財団

〒919-0806 あわら市宮谷57-2-19

Tel. 0776-73-7800 千葉由美

<https://sosaku.jp/>

アートドキュメント2024 岩崎貴宏 もし、アップルパイを最初からつくろうと思うなら、君はまず宇宙を作らなきゃ

今回で27回目となる現代美術のシリーズ企画として、身の回りにあるものを素材として、その土地の風景に見立てた繊細で小さな世界をつくり出す美術作家・岩崎貴宏の個展を開催。福井固有の風土や歴史から着想を得た壮大なインスタレーションが展

開される。

[日程] 9月28日～12月15日

[会場] 金津創作の森美術館

●静岡市

静岡県立美術館

〒422-8002 静岡市駿河区谷田53-2

Tel. 054-263-5755 喜尋孝臣

<https://spmoa.shizuoka.shizuoka.jp/>

無言館と、かつてありし信濃デッサン館—窪島誠一郎の眼

美術評論家の窪島誠一郎が館

主を務めた2つの美術館＝信濃デッサン館(1979年開館・2018年閉館、現「KAITA EPITAPH 残照館」)と無言館(97年開館)の繋がりに着目した展覧会。無言館に集められた戦没画学生作品、デッサン館が所蔵する村山槐多や関根正二、鬚光ら夭折の作家による絵画を通じて、作品への情熱と創造することへの渴望を感じることができる。

[日程] 10月12日～12月15日

[会場] 静岡県立美術館

●愛知県豊田市

豊田市コンサートホール・能楽堂

〒471-0025 豊田市西町1-200 豊田総合館8F

Tel. 0565-35-8200 近藤鎮也

<https://www.t-cn.gr.jp/>

冬月能

毎年恒例となっている朗読×能のシリーズ。今年は能楽の新しい可能性を探索する金春流の山井綱雄による能『大会(だいえ)』と、デーモン閣下の朗読による『鳶(とび)』の恩返し(能古典

●「YPAM—横浜国際舞台芸術ミーティング2024」開催のお知らせ

YPAM(ワイパム)は、同時代の舞台芸術に取り組み国内外のプロフェッショナルが、公演プログラムやミーティングを通じて交流し、舞台芸術の創造・普及・活性化のための情報・インスピレーション・ネットワークを得る場です。25年以上の歴史を経て、アジアでも影響力のある舞台芸術プラットフォームのひとつとして国際的に認知されています。

主催公演プログラム「YPAMディレクション」では、世界初演の2演目を含む5作品が上演されます。日本体育大学横浜・健志台キャンパスで「集団行動」を実践する学生70名とドイツの現代バレエの振付家とのコラボレーション、シンガポールの演出家が横浜を中心にボランティアパフォーマーを募って取り組むイギリスのパロッドオペラのクィアの翻案、在日コリアンの死刑囚との想像上の対話を通して日本の暴力史を考察するレクチャーパフォーマンスなど、YPAMらしいトランスナショナルな視点による作品が集まりました。日本植民地主義時代から冷戦にかけての東アジア史を体現するダンサー、崔承喜について異なる視点から語る2作品もぜひ併せてご覧ください。

プロフェッショナルの交流プログラム「YPAMエクスチェンジ」では、ゲストスピーカーが登場するシンポジウムやYPAM参加登録者がホストする公募ミーティングなどが実施される「ミーティングポイント」を、フォーラム南太田(男女共同参画センター横浜南、12月4日～6日)、横浜市開港記念会館(12月12日～14日)とい

う2つの会場と期間で展開します。参加自由の舞台芸術フェスティバル「YPAMフリンジ」には、YPAM史上最多の50演目がエントリー。その3割が海外からの参加です。さらに、横浜・神奈川と海外の芸術文化団体と、YPAMとの特別協力による「YPAM連携プログラム」など注目のプログラムが並びます。

プログラム詳細や参加登録についてはウェブサイト(<https://ypam.jp>)をご覧ください。

●YPAM—横浜国際舞台芸術ミーティング2024(令和6年度文化庁文化芸術創造拠点形成事業)

[会期] 2024年11月29日(金)～12月15日(日)

[会場] KAAT神奈川芸術劇場、フォーラム南太田(男女共同参画センター横浜南)、横浜市開港記念会館、BankART KAIKO、CROSS STREET、YPAMフリンジセンター、神奈川県立音楽堂 ほか

[主催] 横浜国際舞台芸術ミーティング実行委員会((公財)神奈川芸術文化財団、(公財)横浜市芸術文化振興財団、横浜市にぎわいスポーツ文化局、NPO法人国際舞台芸術交流センター)

[共催] 横浜市にぎわいスポーツ文化局、(公財)全国公立文化施設協会

[助成](一財)地域創造

[事業共催](独)国際交流基金

[協力] BankART1929、NPO法人黄金町エリアマネジメントセンター、(公財)横浜市観光協会、協同組合伊勢佐木町商店街、横浜中華街発展会協同組合、イセザキ・モール1・2St.、横浜高速鉄道(株)

[後援] 外務省、神奈川県



左: YPAM2024エクスチェンジの様子
撮影: 大野隆介

右: リチャード・シーガル/バレエ・オブ・ディファレンス+日本体育大学「集団行動」
提供: 日本体育大学

『大会』をモチーフとした新作戯曲』を上演。悪魔×能という異なるジャンルの融合から生まれる新しい芸能の形に注目。

[日程] 12月22日

[会場] 豊田市能楽堂

●愛知県清須市

清須市はるひ美術館

〒452-0961 清須市春日夢の森1

Tel. 052-401-3881 奥村綾乃

<https://www.museum-kiyosu.jp/>

**清須ゆかりの作家 太田三郎
博学多彩の画家として**

清須市ゆかりの作家をテーマとした企画展。今回は清須市出身の画家であり、愛知県美術館初代館長も務めた太田三郎(1884～1969)を取り上げる。日本画を学んだ後に洋画家としてキャリアを重ねるかたわら、書籍の挿絵や絵はがきなど大衆媒体での表現にも取り組み、文筆活動にも積極的だった太田の表現を没後初めて概観する。

[日程] 11月1日～12月25日

[会場] 清須市はるひ美術館

近畿

●三重県津市

三重県立美術館

〒514-0007 津市大谷町11

Tel. 059-227-2100 原舞子

<https://www.bunka.pref.mie.lg.jp/art-museum/>

**没後20年 柳原義達展
—彫刻の道標—**

戦後日本の具象彫刻界を代表する彫刻家・柳原義達(1910～2004)の没後20年を記念した特別展。作品とともに季節や時間の変化を感じられるよう工夫された展示室で、代表作から初期の作品まで約70点を一堂に展示。珍しいブロンズ彫刻制作過程の実演映像など、さまざまな視点から柳原の彫刻の世界に迫る内容となっている。

[日程] 10月12日～12月1日

[会場] 三重県立美術館

●神戸市

神戸市民文化振興財団

〒650-0017 神戸市中央区楠町4-2-2

Tel. 078-361-7241 森岡めぐみ

<https://www.kobe-bunka.jp/hall/>

ヴェルディ：オペラ

『ファルスタッフ』

神戸文化ホール開館50周年を記念し、岩田達宗の新演出でヴェルディの傑作喜劇を上演。オーケストラピットのある劇場、専属オーケストラ、オペラ界で活躍する歌手たちを擁する専属合唱団など、オペラをつくる要素がすべて詰まった神戸ならではの公演となる。ロビーには神戸の名産品を集めたマルシェが来店し、神戸の魅力を発信する。

[日程] 12月21日

[会場] 神戸文化ホール

中国・四国

●岡山市ほか

岡山芸術創造劇場 ハレノワ

〒700-0822 岡山市北区表町3-11-50

Tel. 086-201-8014 西角・野田

<https://okayama-pat.jp/>

ハレノワ創造プログラム

『終点 まさゆめ』

松井周がさいたまゴールド・シアターに書き下ろした、安楽死をめぐる高齢者の怒りや悲哀が描いた『聖地』の上演から14年。3館連携プログラムとして、内容を再構成し上演する。松井の作・演出の下、介護×演劇の第一人者である菅原直樹が出演・演出協力で加わり、岡山、三重、埼玉のオーディションで選ばれた65歳以上のキャストが、老いといのちを問う高齢者演劇のその先を目指す。

[日程・会場] 11月29日～12月1日：岡山芸術創造劇場 ハレノワ/
12月21日、22日：三重県文化会

館／2025年1月11日～13日：彩の国さいたま芸術劇場

●高知県香美市

香美市立美術館

〒782-0041 香美市土佐山田町262-1

Tel. 0887-53-5110 小松サヤ

<https://www.city.kami.lg.jp/site/bijutukan/>

きれいな絵

開館30周年を迎え、改修工事を経たりリニューアルを記念した企画展。収蔵作品約35点に、高知県立美術館の名品29点を加え、誰でも気軽に楽しめる“きれいな絵”を紹介。改めて絵を見る楽しさを味わってもらい、これまで美術館に足を運ぶ機会の少なかった人にも親しみやすい内容となっている。

[日程] 11月2日～12月22日

[会場] 香美市立美術館

九州・沖縄

●熊本市

熊本市現代美術館

〒860-0845 熊本市中央区上通町2-3

Tel. 096-278-7500 岩崎美千子

<https://www.camk.jp/>

CAMKコレクション

**「それは いつかの だれかの
どこかの 世界」**

鑑賞する側の多様性にも光を当てながらコレクションを紹介する展覧会。社会包摂的観点から会場のガイド等が日本語・英語・やさしい日本語で作成されている。また、作品は鑑賞者の受け止めをもって成立するという考えから、鑑賞者の思考を深め、多様な意見や感想にふれる機会を提供するサポートとして、美術鑑賞アプリ「あとみる」の実証実験にも参加している。

[日程] 10月17日～2025年1月5日

[会場] 熊本市現代美術館

●沖縄県那覇市

那覇文化芸術劇場なはーと

〒900-0015 那覇市久茂地3-26-27

Tel. 098-861-7810 土屋わかこ

<https://www.nahart.jp/>

「出会い」シリーズ2

白神ももこ×兼島拓也

『花売の縁オン(ザ)ライン』

違う地域で活動するアーティスト同士の出会い、観客と戯曲との出会いなどから舞台作品を創作する「出会い」シリーズ第2弾。東京を拠点とする振付家・演出家の白神ももこと沖縄の劇作家・兼島拓也が、沖縄の伝統芸能「組踊」より『花売の縁』を原作に新創作。沖縄の今昔を通して新たな視点から読み解き、現代演劇作品として再構築する。詩人・奥間空による稽古場日記もホームページにて公開中。

[日程] 11月30日、12月1日

[会場] 那覇文化芸術劇場なはーと

●沖縄県沖縄市

ミュージックタウン音市場

〒904-0031 沖縄県沖縄市上地1-1-1-3F

Tel. 098-932-1949 新垣健

<https://www.otoichiba.jp/>

**沖縄市市制施行50周年記念
企画「スナックみ〜こ」**

音楽のまち・沖縄市の市制施行50周年を記念し、沖縄民謡歌手・古謝美佐子扮する「み〜こママ」がさまざまなゲストを迎えて展開するコンサート。ドラッグクイーンとトークを交えたパフォーマンスを披露したり、特別支援学級の子どもたちや音楽家とのコラボレーションなど、老いも若きもLGBTや障がい者も一緒に楽しみ、多様な文化を受け入れ発展してきたチャンプルー文化を感じられる。

[日程] 12月22日

[会場] ミュージックタウン音市場

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

財団からのお知らせ

●令和7年度「公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)」「公共ホール邦楽活性化事業」スタッフ募集

公共ホール音楽活性化事業(おんかつ)は、当事業に登録しているクラシック音楽の演奏家と、クラシック音楽事業の企画制作について経験が豊富な専門家(コーディネーター)を公共ホールへ派遣し、身近で親しみのある「コンサート」と地域住民との交流を図る「アクティビティ」を実施するものです。

また公共ホール邦楽活性化事業は、当事業に登録している邦楽の演奏家と、邦楽事業の企画制作について経験が豊富な専門家(コーディネーター)を公共ホールへ派遣し、身近で親しみのある「コンサートまたはワークショップ」と地域住民との交流を図る「アクティビティ」を実施するものです。

両事業について、コーディネーターの補助業務を担当していただくサブコーディネーター・アシスタントを、おんかつについては研修スタッフも募集します。

◎募集概要

サブコーディネーターとアシスタントは、文化・芸術分野の公演、アウトリーチやワークショップなど、地域の文化・芸術活動に関わった経験のある方などを対象とし、地域におけるアウトリーチ活動や当事業の中核となって活躍する人材の育成を目的としています。

研修スタッフは、公共ホールの職員を対象にアウトリーチ事業の企画制作等について実践的な研修を実施し、地域の文化・芸術を担う人材の育成に加え、地域間の相互交流の促進

も担っています。

募集要項および応募用紙は当財団ホームページに掲載しています。詳細は担当までお問い合わせください。

募集締切：2025年1月14日(火) 必着

◎公共ホール音楽活性化事業(おんかつ) サブコーディネーター・アシスタント・研修スタッフの募集要項は下記よりご覧いただけます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/01.html>



◎公共ホール邦楽活性化事業サブコーディネーター・アシスタントの募集要項は下記よりご覧いただけます。

<https://www.jafra.or.jp/project/music/04.html>



●令和7年度ステージラボ開催地のお知らせ

ステージラボは、公立文化施設等の職員を対象にした少人数形式の実践的な研修事業で、毎年、前・後期の2回開催しています。

令和7年度は、前期(2025年7月上旬)に茅野市民館・茅野市美術館(長野県茅野市)で2コースを実施、後期(2026年2月下旬)に高知市文化プラザかるぼーと(高知県高知市)で3コースを実施予定です。詳細は地域創造レターおよびホームページでお伝えします。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

●公共ホール音楽活性化事業に関する問い合わせ
芸術環境部 日野
Tel. 03-5573-4076

●公共ホール邦楽活性化事業に関する問い合わせ
芸術環境部 森永
Tel. 03-5573-4069

●ステージラボに関する問い合わせ
芸術環境部 児島・天野
Tel. 03-5573-4183

●「特別寄稿 ビューポイント view point」No.17 掲載について

地域創造ホームページ限定で、有識者やキーパーソンから文化芸術および公立文化施設等におけるチャレンジングな取り組みを寄稿していただくコーナー「特別寄稿 ビューポイント view point」。

17回目となる今回は、振付家/ダンスカンパニー「セレノグラフィカ」代表で、ステージラボやダ

ン活など当財団の事業でもお馴染みの隅地茉歩氏にご寄稿いただきました(11月末更新)。

<https://www.jafra.or.jp/library/other/column17.html>

◎問い合わせ

芸術環境部 和田
Tel. 03-5573-4093



財団からのお知らせ

●WEBでの情報発信のお知らせ

地域創造ではWEBでの情報発信にも力を入れています。財団ホームページでは、当財団のこれまでの事業実績や登録アーティスト情報をデータベースとして検索できるほか、地域創造レターのバックナンバーや各種報告書もご覧いただけます。

また「おんかつ支援」のページでは、登録アーティストから提供いただいた所属事務所や個人のホームページ、SNS、動画などのURLをまとめたリンク集を掲載するなど、事業の参考となるような情報も随時更新しています。

「地域文化資産ポータルサイト」では、全国各地の伝統芸能等の映像を掲載。月ごとのテーマに合わせた映像の紹介も行っています。

そのほか、「地域創造公式YouTubeチャンネル」やFacebookでも随時情報発信をしております。地域創造レターと併せて、ぜひご活用ください。

- ◎地域創造ホームページ
<https://www.jafra.or.jp/>
- ◎おんかつ支援登録アーティストリンク集
<https://www.jafra.or.jp/project/music/03.html>
- ◎地域文化資産ポータルサイト
<https://bunkashisan.ne.jp>
- ◎地域創造公式YouTubeチャンネル
https://www.youtube.com/channel/UCQzyG0gkEMVvdjkLVPh4r_A
- ◎地域創造公式Facebook
<https://www.facebook.com/RegionalArtActivities/>

●令和6・7年度「公共ホール創造ネットワークモデル事業」アウトリーチ実施報告

県および市町村等の公共ホールが共同・連携して、2か年にわたってクラシック音楽、現代ダンスまたは演劇の複数ジャンルを取り入れた地域交流プログラムと作品制作および公演を実施する「公共ホール創造ネットワークモデル事業」。令和6・7年度の実施団体となる福島県では、会津若松市、南相馬市、三春町の3市町が参加し、リージョナルシアター事業派遣アーティストの多田淳之介さん、公共ホール現代ダンス活性化支援事業登録アーティストの森下真樹さんと共に事業を実施しています。

令和6年度は、9月に10日間かけて実施したアウトリーチ研修において作り上げた新たなアウトリーチのプログラムを用い、参加3市町の小学校や福祉施設でアウトリーチを実施しました。その中で、会津若松市の小学校と三春町の福祉施設の模様を紹介します。

会津若松市では、アウトリーチが学校教育の場で役立つということを実感してもらいたいという思いから、小学6年生3クラスを対象に事業を実施しました。クラス内でも普段はあまり交流のない子ども同士がお互いの良さを再発見できる機会となりました。また、担任の先生からは、今後も同様の事業を特にクラス替えの直後などに実施できたら有意義な時間になりそうだというお言葉をいただき、今後ホールとして企画する事業への足がかりとなりました。

三春町では、障がいを持つ方々の就労をサポートする福祉サービス事業所にて、施設の利用者

のほか、普段から施設と関わりのある地域住民を対象として実施しました。この事業所では参加者をほとんど変えずに2回実施しましたが、1回目ではやや緊張気味で積極的に参加できなかった方も、2回目は緊張がほぐれ、自らアーティストたちの動きに混ざったり、手拍子をしたりして楽しんでいました。担当者やアーティストにとっても、継続して事業を実施する大切さを感じる事ができた時間となりました。



上：会津若松市立城西小学校でのアウトリーチの様子
下：NPO法人ミッドレーベンでのアウトリーチの様子

●創造ネットワークモデル事業に関する
問い合わせ先
芸術環境部 栗林・溝上
Tel. 03-5573-4055・4078

▼財団からのお知らせ

地域創造からのお知らせを毎月掲載します

●令和6年度「公共ホール邦楽活性化事業」がスタート

邦楽にふれる機会の少ない方や地域の方々にとって新たな発見や交流の場になることを目指し、工夫を凝らしたコンサートとアクティビティ（地域交流プログラム）を実施する「公共ホール邦楽活性化事業」。令和6年度は、全国6地域で事業を展開します。今号ではその中から沖縄県名護市の模様をご紹介します。

名護市は、沖縄県の北部に位置する人口約6万4,000人の自然豊かなまちです。今回は、森梓紗さん(箏)、東田はる奈さん(笙)と共に、琉球の文化(生き物・衣・食・芸能)を後継者へ繋いでいる方々を対象にアクティビティを実施しました。

食文化は、郷土料理を幅広い世代に継承しているボランティア団体「わかめ会」会員を対象に、穀物や食料を運ぶためにつくられたという沖縄県内初の手掘りトンネル(仲尾トンネル)で行いました。

古典の伝統的な音階を用いた『さくら』の変奏から始まると客席は和の音色に包み込まれました。そして笙が登場すると初めての楽器に興味津々。箏と笙のためにかかれた『泡沫(うたかた)リバーズ』では、楽器の多彩な音色に加えて、鳥や風など自然の音も音楽の一部となり、名護市ならではのアクティビティとなりました。

コンサートの1部では、着物と装束という伝統的な衣装で登場。凜とした姿と背景の沖縄伝統の幕が美しく合わせ、お互いの文化を尊重し合

っているようでした。2部は二十絃箏も登場し、箏との音色の違いも楽しみました。アンコールに演奏した『涙そうそう』では、アクティビティや滞在の様子の映像が流れ、曲調も相まって大きな感動の内に幕を閉じました。

今年度の邦楽事業はまだまだ続きますので、ぜひご注目ください。



上：仲尾トンネルでのアウトリーチ/下：「KOTO SHOW 箏×笙 めぐる出逢い つながる想い」コンサートの様子

●令和6年度「公共ホール邦楽活性化事業」実施団体

- (主会場/派遣アーティスト/日程)
- 沖縄県名護市(名護市民会館/森梓紗/10月18日～20日)
 - 福岡県中間市(なまかハーモニーホール/森梓紗/12月20日～22日)
 - 福島県白河市(白河市東文化センター/森梓紗/2025年1月23日～25日)
 - 兵庫県養父市(養父市立おやおホール/安嶋三保子/1月23日～25日)
 - 熊本県益城町(益城町文化会館/安嶋三保子/2月14日～16日)
 - 宮崎県都城市(都城市総合文化ホール/大萩康喜/3月7日～9日)

●公共ホール邦楽活性化事業に関する問い合わせ

芸術環境部 森永
Tel. 03-5573-4069

●令和6年度市町村長特別セミナー「地域経営塾」終了報告

地域創造では、文化・芸術による地域づくりへの理解を深めていただくため、全国市町村国際文化研修所(JIAM)、総務省との共催により「市町村長特別セミナー『地域経営塾』」を実施しています。今年度は11月7日、8日の2日間にわたって開催され、1日目には文化・芸術による地域づくりに関する講義と、おんかつ支援登録アーティストによるアウトリーチ体験を実施しました。

愛知大学文学部教授の吉野さつきさんによる講義では、障害のある人に対して、地域社会がどのように関わっていくべきか、また、文化芸術が障害のある人に対してどのような役割を果たせるのか、ということ、法律の根拠を踏まえながら具体的な事例を交えて講義いただきました。

講義の中で、文化・芸術は障害の有無に関わらず享受されるべきで、そのためには支援

センターや行政の文化担当部署、福祉担当部署、中間支援団体等との連携がなければならない。そうすることで、芸術を通して社会参加や自立に繋がり、多様な生き方の選択肢が生まれていくとお話がありました。

実際に、穂の国とよはし芸術劇場プラットでは、鑑賞サポートだけではなく、障害者と共に創るということを目指し、障害のある人とのワークショップや劇場体験プログラムを行っているとのこと。公立文化施設は地域づくりのためのクリエイティブな実践と実験の場であり、収益性を求めるだけの施設ではない、という吉野さんのお話に、参加者は熱心に耳を傾けていました。

講義に続いて行われた、ヴァイオリン奏者の坂口昌優さんによるアウトリーチ体験では、ヴァイオリンの音の鳴らし方や、実際に演奏しながらの奏法紹介、曲を聴いて曲名

を参加者に想像してもらうクイズのほか、参加者が自由に振る指揮に合わせて曲を演奏し、同じ曲でも全然違う表現となることを感じてもらうなど、多彩なプログラムとなりました。また、アウトリーチは演奏会に行きたくても行けない人に音楽を届けられる社会的意義のある活動だと思っているとお話もあり、講義との共通点についても感じられる素敵なアウトリーチ体験となりました。



坂口昌優さん(ピアノ/鶴見彩さん)によるミニコンサート

▼—今月のレポート

財団の支援事業や地域の創造活動に参考になる催しを取り上げてレポートします

和歌山県和歌山市 和歌山県民文化会館 「音楽とダンスが 出会う夢の旅」



上:「メリー・ウィドー」よりワルツ・メドレー
下:「シャコンヌ」
写真提供:和歌山県

●公共ホール創造ネットワークモデル事業「音楽とダンスが出会う夢の旅～響きの先のあしたへ～」
【会場・会期】和歌山県民文化会館小ホール:10月13日、串本町文化センター大ホール:10月20日、かつらぎ総合文化会館あじさいホール大ホール:10月27日、上富田文化会館文化ホール:11月10日
【出演】北島佳奈、セレノグラフィカ(隅地茉歩さん、阿比留修一)、上野絵理子
【主催】和歌山県公共ホール創造ネットワークモデル事業実行委員会(和歌山県、かつらぎ町、上富田町、串本町、一般財団法人和歌山県文化振興財団)
【共催】一般財団法人地域創造

●公共ホール創造ネットワークモデル事業
公共ホール職員等の企画制作能力の向上と都道府県内の公共ホール間の連携の促進を目的に、都道府県等を中心に市町村の公共ホールが協働・連携して実施する2カ年事業。地域創造から必要に応じてコーディネーターを派遣し、クラシック音楽・現代ダンス・演劇等の複数ジャンルのアーティストの交流により、1年目が相互理解を深める研修および新たなアウトリーチプログラムの開発と実施、2年目の舞台作品の創作と巡回公演および地域交流プログラムを支援。

和歌山県内の公共ホール4館が参画し、2カ年をかけて企画制作した舞台「音楽とダンスが出会う夢の旅～響きの先のあしたへ～」が10月13日に和歌山県民文化会館小ホールで満席の観客にお披露目された。これは、和歌山県が地域創造の立ち上げた「公共ホール創造ネットワークモデル事業(以下、創造ネット)」を活用し、県内4館と実行委員会形式で取り組んだものだ。

今回は、同県出身の北島佳奈さん(ヴァイオリン)と上野絵理子さん(ピアノ)、コンテンポラリーダンスのセレノグラフィカ(隅地茉歩さん、阿比留修一さん)、地域創造から派遣されたコーディネーターの岩崎正裕さん(演出家)と岩村原太さん(舞台照明デザイナー、2年目のみ)がタッグを組み、新たなクリエイションに挑戦した。



創造ネットの最大の特徴は、2カ年をかけて複数ジャンルのクリエイターチームが1年目のアウトリーチ、2年目の作品制作および公演に挑むことだ。その成果である今回の舞台では、音楽とダンスのセッションに始まり、デュエット・ダンス、ヴァイオリンとピアノによるオペラ『カルメン』と続く。圧巻は本格的なコラボレーションで取り組んだバッハの『シャコンヌ』。亡き妻に捧げたとも言われるこの名曲を北島さんが独奏する中、目隠しをしたウェディングドレス姿の隅地さんとタキシード姿の阿比留さんが交錯する独特の世界が展開した。今回の取り組みについてクリエイターたちはどう感じているのだろう。

岩崎:「アーティスト、僕、岩村さんをはじめとする技術スタッフ、地域創造の担当者など、みんなが同じ土俵で意見を出しながら創作した。普通ならまとまらないところだが、地域創造の登録アーティストとして同じ価値観を共有していたことに加え、1年目のアウトリーチでチームづくりができていたから可能になった。」

隅地:「この4人だったら何ができるかをずっと考えていた。アウトリーチは前半と後半を音楽とダンスで分けたが、子どもたちの身体は音楽によって変化し、自分の中で音楽とダンスを自由に混ぜてイメージを膨らませていた。無理に融合して提示しなくても、それぞれのベストを

提出して後は委ねるのもコラボでは。」

阿比留:「ダンスで音のないワークを行ったときに、演奏家が『音のない時間に音を感じる』と言われた。ダンサーが静かに歩いて登場するなどの時間を共有することが協働になると思った。最後のシャコンヌが課題だったが、共通のアプローチをするのではなく、それぞれのシャコンヌを舞台に置けばいいと考えた。」

北島:「無音のダンスを見たときに自分の中に映像＝イメージが湧いてきて、それが音楽になって聞こえてきた。演奏するときに何を大切にするかという軸がブレることはないが、ダンスと一緒にやって演奏が音だけではなく“見える”ということに気づかされ、新しい自分を引き出していただけだと思う。」

上野:「ダンスと一緒にやって視覚的なことを意識するようになり、自分の扉が開いた感じがした。コラボには答えがないので、音楽だけの演奏会とは違う“空白”ができるところがある。客席にいる方も私と同じように開放されて、舞台との間に気門が開いている感じで、来ている方それぞれとのコラボになっていると感じた。」

今回事務局を務めた和歌山県文化学術課の田中融さんは、「隅地さんが『これって何だったのかな?と皆が考えながら家路につく公演にしたい』と言われていたが、『シャコンヌ』が色々な角度から浮かび上がってきて、1+1=2ではなく、無限に広がっていく可能性を感じた。一緒に事業を行ったことで市町村と横のつながりが生まれ、今回参加した市町村同士で新しい企画を立ち上げる動きもある」と振り返っていた。

地域創造の津村卓プロデューサーは、「これからは県が市町村をどう支援していくのかが問われてくる。地域での経験が豊富なコーディネーター(演出家など)は地域創造が派遣するが、アーティストは県と相談して決めている。音楽だけ、演劇だけ、ダンスだけというのではなく、ジャンルを越えることでみんなが対等に創作に参加できる場が生まれる。できるだけ自由な創造現場で、みんなと一緒に成長できる事業を目指した」と言い、まさにその意図が見事に実を結んだ舞台になっていた。(坪池栄子)